

講演業績書

1.咀嚼・嚥下障害時の食事・料理上の注意点	平成 12 年 10 月 25 日	愛知県栄養士会主催行政栄養士研修会	保健所の管理栄養士を対象に、嚥下・咀嚼障害のメカニズム、嚥下障害段階食の基準および調理上の注意点について講義した。
2.咀嚼・嚥下障害者への栄養指導	平成 12 年 12 月 18 日	第 25 回病院調理師研修会 愛知県栄養士会主催	病院の調理師に対し、咀嚼・嚥下障害は何故起こるの？どんな状態なのか？どういった食事が食べやすいかなどを概説した。調理上の工夫と調理する側が十分に患者の状態を理解し熱意を持って食事作りをすることが必要と講義した。
3.栄養と食事—介護保険での栄養指導をとおして	平成 13 年 2 月 9 日	なごや福祉用具プラザ主催介護者教室	介護保険事業に関連する職種（ケアマネジャー、ヘルパー、看護師など）および自宅で介護をしている一般市民（介護者）に対し高齢者の栄養状態の実態とその問題点、居宅療養管理指導の利用方法について講義した。（中区役所）
4.咀嚼・嚥下障害食の調理上の注意	平成 13 年 9 月 19 日	第 26 回病院調理師研修会 愛知県栄養士主催	昨年に引き続き病院調理師に対し咀嚼・嚥下障害のある人に提供する嚥下障害食の調理上の注意点を解説した。
5.栄養アセスメントと栄養士の関わり	平成 13 年 10 月 17 日	愛知県老人保健協会 栄養士三河ブロック部会	老健協会の管理栄養士に対し、栄養アセスメントとは、身体計測の方法、臨床兆候と栄養との関連について講義した。
6.おいしい透析食	平成 14 年 2 月 17 日	愛知県腎臓病患者連絡協議会青年部会研修会	愛腎協青年部会に所属する透析患者さんを対象に、透析食をおいしく作る・食べることができるように、講演および料理実習を実施した。（大府健康プラザ調理室）
7.褥瘡対策の栄養管理	平成 14 年 8 月 31 日	愛知県栄養士会全体研修会	褥瘡の栄養管理の方法について新生会第一病院で実践している内容および日本褥瘡学会が提示しているガイドライン、診療計画書について概説した。
8.集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導の方法	平成 14 年 12 月 14 日	愛知県栄養士会第 2 回実務者研修会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。
9.在宅訪問栄養指導の実際	平成 15 年 11 月 10 日	三重県桑名保健局	三重県桑名保健局管内の管理栄養士に対し、在宅高齢者の栄養状態の実態とその問題点、在宅訪問栄養食事指導の実際とその展開方法について講義した。
10.集団栄養指導と在宅訪問栄養指導	平成 15 年 12 月 13 日	愛知県栄養士会第 3 回実務者研修会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。

11.高齢者の栄養評価と嚥下障害の食事	平成 16 年 3 月 3 日	天白保健所集団指導	天白保健所管内の管理栄養士に対し、高齢者の栄養アセスメント方法および栄養状態の問題点、在宅訪問栄養指導の実際とその問題点について講義した。
12.嚥下障害食と栄養評価	平成 16 年 7 月 2 日	社会福祉法人サンライフ研修会	法人内管理栄養士および調理師に対し、栄養アセスメント方法および嚥下・咀嚼障害のメカニズムと嚥下障害食の作り方、調理上の注意点について講義した。
13.口腔ケアと食の援助について	平成 16 年 9 月 11 日	口腔ケア学会設立総会	口腔ケアと食事・栄養との関連、経口摂取を促す上での管理栄養士の役割、高齢者の栄養ケアの重要性について歯科医師・看護師・歯科衛生士などを対象に講義した。
14.集団栄養指導と訪問栄養指導	平成 16 年 11 月 3 日	愛知県栄養士会第 4 回実務者研修会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。
15.栄養アセスメントと介護食	平成 16 年 12 月 10 日	愛知県民間老人福祉施設協議会研修会	老健部会の管理栄養士を対象に、「栄養アセスメントの方法」、「身体計測の実習」、「事例を用いた栄養ケアプランの演習」を実施した。また、介護食については嚥下障害段階食について概説した。
16.事例を通し栄養ケアプランをたててみよう	平成 17 年 7 月 13 日	岐阜県栄養士会福祉協議会研修会	岐阜県の福祉部会の栄養士を対象に、栄養ケアプランの作成方法を講義した。介護保険制度での栄養マネジメント加算の新設を間近に控えているため、栄養ケアの手順について栄養障害の高齢者の事例を使い概説した。
17.高齢者への訪問栄養指導と PEM 患者の栄養ケアプラン	平成 17 年 8 月 3 日	三重県北勢桑名保健福祉栄養士職域ネットワーク	三重県桑名保健局管内の管理栄養士に対し、介護保険での栄養マネジメント加算の新設の意味と、栄養ケアの手順について概説した。また、訪問栄養指導に繋がった PEM 患者の事例を使い栄養ケアの実際を講義した。
18.在宅訪問栄養食事指導と集団栄養食事指導	平成 17 年 10 月 15 日	愛知県栄養士会第 5 回実務者研修会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。
19.栄養改善について一介護支援専門員が知っておかなければならない知識	平成 17 年 11 月 15 日	瑞穂区在宅介護支援センター研修会	瑞穂区内の介護支援専門員に対し、改正された介護保険の栄養改善の意味と介護支援専門員に求められる視点、支援について概説した。
20.栄養ケア・マネジメントと栄養ケア計画	平成 18 年 3 月 12 日	愛知 MDS 研究会研修会	介護保険に関連する職種に対し平成 17 年 10 月に改正させた介護予防と栄養改善について、在宅高齢者の栄養状態の実態とその問題点、今後必要とされる栄養ケアの視点、栄養ケア計画の作成方法について概説した。
21.栄養ケア・マネジメントー介護関連職種が知っておかなければならない栄養知識	平成 18 年 5 月 28 日	愛知 MDS 研究会研修会	介護保険に関連する職種に対し平成 17 年 10 月に改正させた介護予防と栄養改善について、在宅高齢者の栄養状態の実態とその問題点、今後必要とされる栄養ケアの視点、栄養ケア計画の作成方法について概説した。

22.栄養ケア・マネジメンター介護 関連職種が知っておかなければ ならない栄養知識	平成 18 年 6 月 25 日	愛知 MDS 研究会 研修会	介護保険に関連する職種に対し平成 17 年 10 月に改正させた介護予防と栄養改善について、在宅高齢者の栄養状態の実態とその問題点、今後必要とされる栄養ケアの視点、栄養ケア計画の作成方法について概説した。
23.栄養ケア・マネジメントと訪問 栄養食事指導	平成 18 年 7 月 5 日	東濃保健所	岐阜県東濃保健局管内の管理栄養士に対し、介護保険で始まった栄養マネジメント加算について、何故必要なのか？管理栄養士の果たす役割はなにか？を訪問栄養指導に繋がった PEM 患者の事例を用い講義した。
24.嚥下障害と食事形態	平成 18 年 7 月 29 日	愛知県介護福祉士 会	愛知県介護福祉士研修会において、嚥下障害の評価、嚥下段階食、嚥下障害食の作り方、増粘剤の使い方、栄養アセスメントの重要性について講義した。
25.透析食ーリンのとり方ー	平成 18 年 7 月 30 日	愛知県腎臓病患者 連絡協議会青年部 会研修会	愛腎協青年部会に所属する透析患者さんを対象に、透析食、とくにリンのとり方を中心に料理講習会を実施した。(大府健康プラザ調理室)
26.集団・在宅患者訪問栄養指導に ついて	平成 18 年 9 月 3 日	愛知県栄養士会 第 6 回実務者研修 会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。
27.在宅介護高齢者の栄養状態と 栄養ケア・マネジメント	平成 18 年 10 月 21 日	静岡県栄養士会福 祉部会研修会	静岡県福祉部会の管理栄養士を対象に、在宅高齢者の栄養アセスメントの方法、栄養改善への取り組み、事例を用いた栄養ケア・マネジメントの実際について講義した。
28.集団・在宅患者訪問栄養指導に ついて	平成 20 年 1 月 26 日	愛知県栄養士会 第 7 回実務者研修 会	愛知県栄養士会の管理栄養士を対象に、集団栄養指導・在宅訪問栄養食事指導についての診療報酬算定上の注意点を述べた。また、在宅訪問栄養食事指導についてはその実際を事例にて概説した。
29.病院での管理栄養士の仕事	平成 20 年 4 月 6 日	椋山女学園大学生 活科学部新入生研 修	平成 20 年度の新入学生を対象に、病院の管理栄養士の仕事内容を紹介した。新人管理栄養士の仕事の流れを画像でわかりやすく示し、めざす管理栄養士像がイメージできるように解説した。
30.透析食レシピ クッキング& セミナー	平成 21 年 7 月 19 日	愛知県腎臓病患者 連絡協議会主催	透析食のレシピの紹介および参加者が作ったオリジナルレシピの講評。八丁味噌を使った料理を評価し、透析食とし考えなくてはならないカリウム、リン、食塩のとり方について解説した。
31.CKD における低たんぱく食の 実際	平成 21 年 7 月 30 日	保存期慢性腎不全 研究会 (岐阜都ホ テル)	CKD のガイドラインに基づき実際の臨床の場で、CKD ステージ別食事療法をどのように考え展開しているか、低たんぱく食はどのくらいの食品量(食事量)になるのか、具体的にどういった患者指導が行われているのか、糖尿病から腎症を発症した場合食事をどのように変えていったらよいか、などについて紹介した。特に、CKD の食事療法を実践するに当たり、われわれ管理栄養士の果たす役割は大きい。患者と共に歩み、CKD の進行抑制に繋がる食事療法支援を展開していくことが必要と講義した。

32.訪問栄養指導の基礎知識-どうやって訪問にできればいいの？	平成 21 年 12 月 5 日	第 7 回愛知高齢者栄養ケア研究会 (第二豊田ビル西館)	訪問栄養指導の対象となる疾患。介護保険。医療保険での利用上の注意点、依頼を受けてから実際の訪問までの手順について代表的な 3 つの方法を解説した。
33.家庭で簡単に作れる低たんぱく食	平成 22 年 3 月 6 日	全国在宅訪問栄養食事指導研究会東海ブロック研修会	管理栄養士を対象に低たんぱく食の栄養管理の方法について講演し、実際低たんぱく食の調理実習を行い、たんぱく質の食品の使い方味つけ方法を具体的に解説した。また、腎不全用の特殊栄養食品の料理を作り、使い方、味などの確認を行った。
34.在宅高齢者の栄養管理	平成 22 年 9 月 16 日	日本訪問歯科協会中部ブロック研修会	訪問歯科診療をしている歯科の先生と歯科衛生士さんを対象に在宅高齢者の栄養状態の実態と栄養管理方法について講演した。また、在宅では栄養不良の方への栄養介入が十分に行われていないことから、栄養状態をスクリーニングしていくことも重要となるので、MNA ショートフォームを使った栄養スクリーニング方法を紹介した。
35.安心！安全！な老後のための生活設計講座	平成 23 年 7 月 8 日	名古屋学院大学シティカレッジ 2011	超高齢者社会を迎え誰もが安心、安全な老後を送れるように 5 回連続で企画された講座。福祉制度、栄養、成年後見制度、医療保険制度、生活設計の 5 講座の中の栄養部分を「健康な老後のための栄養管理～健康で長寿の食とは～」について講演した。 老化とともに進行する身体の器質的を抑える食事、さらには酸化ストレスを減らす栄養成分・栄養補給法などについて解説した。
36.保存期腎不全の栄養食事療法	平成 23 年 8 月 28 日	第 18 回腎不全対策キャンペーン	名古屋大学名誉教授 前田憲志先生が主催されている腎不全対策キャンペーンにて「保存期腎不全の栄養食事療法」について講演した。 特に保存期腎不全で重要となるたんぱく質とエネルギーのとり方、さらには食塩を 1 日 6g に減らす方法とカリウムの取り方について具体的にわかりやすく解説した。
37.在宅訪問栄養指導体験から学んだこと 在宅で求められる栄養士の技術とは	平成 24 年 1 月 28 日	勇美記念財団研究助成事業栄養勉強会 (東別院会館)	在宅高齢者を対象とした訪問栄養・食事指導について、対象者(高齢者)の理解、訪問栄養指導体験で学んだこと、訪問栄養指導の基礎知識として訪問栄養指導開始までに揃える書類と訪問システム、在宅で求められる管理栄養士技術について、さらに今年度より開始される日本栄養士会の特定分野認定制度(在宅訪問管理栄養士)の受験方法とカリキュラムについて講演した。

38.慢性腎臓病の基礎知識と栄養管理	平成 24 年 2 月 29 日	社団法人日本メディカル給食協会 栄養士研修会 (名古屋観光ホテル)	日本メディカル協会の管理栄養士・栄養士を対し腎臓病の栄養管理の重要性と具体的な栄養管理の方法について講演した。 具体的な内容はCKDのガイドラインから見た栄養基準、低たんぱく食の方法、透析療法期の栄養管理に必要な病態・用語の解説、CAPD の栄養管理、検査データの読み方などを解説した。
39.在宅高齢者への栄養介入と課題—訪問栄養食事指導・栄養補助食品の補給・配食サービスからの検証—	平成 24 年 4 月 21 日	第 4 回多職種連携在宅医療研究会	在宅での栄養ケアの実践には多職種との連携が必須となるが、その中で多職種に管理栄養士はなにか出来るのかを明らかにしていくことも重要である。そこで、在宅高齢者の栄養状態の概要と栄養障害の実態、管理栄養士が行える栄養介入法として訪問栄養食事指導・栄養補助食品の補給・配食サービスの提供の効果を発表した。また、今年度より教育をスタートさせる日本栄養士会認定の「在宅訪問管理栄養士」制度について紹介した。
40. 慢性腎臓病 (chronic kidney disease : CKD) の予防と栄養管理の重要性	平成 24 年 9 月 21 日	第 54 回全日本病院学会 in 神奈川県 公益法人日本メディカル給食協会シンポジウム	CKD ステージ分類別の栄養管理方法として、ステージ 4・5 では低たんぱく食・高エネルギー食の実施方法、ステージ 5D (透析療法期) では水分、食塩、カリウム、リンの管理方法について解説した。とくに、この時期の栄養管理は栄養状態の良否が治療の臨床効果に大きな影響を及ぼすこと。CKD の栄養管理では、入院中の患者にあつては提供される食事がおいしくなくては治療効果が上がらない。提供する食事 (食塩やカリウム、リンなどの栄養素の制限のある食事) をいかにおいしくできるかを極め、専門性を確立することが必要と講演した。
41.在宅訪問栄養食事指導から学んだこと 求められている栄養士の技術とは	平成 25 年 2 月 11 日	第 21 回岐阜県栄養改善学会 (岐阜聖徳学園大学岐阜キャンパス)	在宅訪問栄養食事指導について、対象者 (高齢者) の理解、訪問栄養指導の基礎知識として訪問栄養指導開始までに揃える書類と訪問システム、在宅で求められる管理栄養士技術について解説した。在宅訪問栄養食事指導は、医療知識が不可欠で管理栄養士としての専門性が問われ、医師を含めた多職種を共働して支援が当たることができることが重要と講演。さらに今年度より開始される日本栄養士会の特定分野認定制度 (在宅訪問管理栄養士) の受験方法とカリキュラムについて解説した。

42.慢性腎臓病の基礎知識と栄養管理	平成 25 年 3 月 30 日	全国在宅訪問栄養食事指導研究会関西ブロック研修会（岡山国際交流センター）	<p>CKD ステージ分類別の栄養管理方法について 2012 年度の CKD ガイドラインをもとに講義をした。また、最近話題の CKD-MDB について、とくに無理リンの管理の重要性を解説した。</p> <p>CKD ステージ分類別では、G4・G5 での低たんぱく食・高エネルギー食の実施と栄養指導方法、ステージ 5D（透析療法期）では水分、食塩、カリウム、リンの管理方法を中心に解説した。</p>
43.特定分野認定制度「在宅訪問管理栄養士」	平成 25 年 6 月 8 日	第 34 回全国在宅訪問栄養食事指導研究会（第 1 回学会）	<p>公益法人日本栄養士会と全国在宅訪問栄養食事指導研究会認定の「在宅訪問管理栄養士」制度が一昨年よりスタートした。「在宅訪問管理栄養士」は、「療養者が在宅での生活を安全かつ快適に継続でき、さらに QOL を向上させることができる栄養食事指導（支援）の技術を備えた管理栄養士」である。時代の要請に応える制度として、昨年は e-ラーニングを 711 名が受講し、594 名が修了、2012 年 12 月に開講したセカンドステップは 449 名が受講し、280 名が認定試験を合格した。試験合格後の実施・実践レポートは 76%の提出があり 200 名弱の認定者が誕生する予定であると講演した。</p>
44.在宅訪問栄養食事指導における栄養ケア計画の作成方法	平成 25 年 9 月 7 日	全国在宅訪問栄養食事指導研究会東海ブロック研修会	<p>在宅訪問栄養食事指導における栄養ケア計画の作成方法のポイントとして、1. 栄養ケアプロセスを理解（栄養アセスメント・栄養診断を適切に行うこと、優先順位の高い栄養問題を見誤らないこと）、2. 生活状況アセスメントの理解（栄養だけを見ていては見失うことがある、生活全般から栄養を見る）、3. 栄養ケア計画書の書き方を理解する（短期目標から具体的な実践可能な計画を立てる）ことが重要と解説した。</p>